

空間に明かりを飾ろう

～材料や用具の特性を生かして、表現しよう～

名古屋市立鳴子台中学校 谷村 薫音

題材の目標

光の色や影の効果など、光がつくり出す空間の美しさから主題を生み出し(知識・技能)、
主題をもとに材料や道具の特性を生かして(思考・判断・表現)表現しよう。

題材のねらい

- ・暮らしの中にある光の美しさや効果に気付く。
- ・多様な表現方法を試し、取捨選択し、表現方法を追求する。

環境づくり

様々な材料を自由に試し、主題に沿った素材、道具を使えるように次のように準備をした。



【ワイヤー、竹ひご、ロープなど】



【和紙、カラーセロハン、色画用紙などの紙類】



【各班に分けて作品を保管する棚とケース】

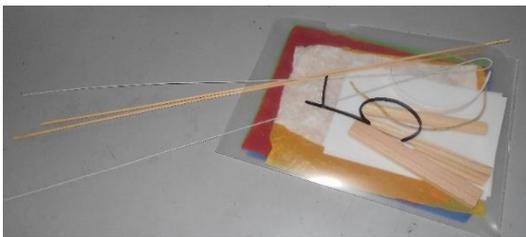


【各班で使う道具セット】

題材の流れ

① オリエンテーション:いろいろな素材を触り、光の効果を実感する。

班ごとに写真のように材料を用意する。クリアファイルに入れ、手に取っていろいろな素材を試せるようにした。



【各班ごとの材料】



【クリアファイルの中身: お花紙、和紙、カラーセロハンや、竹ひご、ワイヤー、木片など】

材料による光の色や雰囲気の変化に気付かせる

② アイデアスケッチ:主題を生み出し、作品の構想を練る。

①で実感した光の効果をもとに主題を生み出し、作品の構想を練る。この段階でまだ具体的な構想がなければつくりながら描いていく。

季節ごとに和紙の色を変える。

主題:春夏秋冬

表現方法:季節に合わせた和紙や色紙を使う。

主題:秋の始まり

表現方法:家に帰るときの夕暮れをイメージしたので家の形にする。夜が「もやっ」と来る感じを液状にセロハンで表現する。

【生徒のアイデアスケッチ、主題、表現方法】

③ 制作:ワークシートの計画に基づいて、次のような表現方法を選択し、制作を行う。



【張り子】

お花紙や和紙を使い、張り子で形をつくる。
風船を用いて張り子で表現する生徒もいれば、ワイヤーや紙テープなどで形を作り、張り子で表現する生徒も見られた。



【紐を巻く】

紙紐にボンドをつけ、風船や角材を芯として巻き付けて形をつくった。紙紐と画用紙を組み合わせることで、柔らかい光をつくり出す生徒もいた。



【紙だけでつくる】

紙のみで自立できるように折ったり立てたりさせながら、紙の重なりによる光の変化を考え、のりしろも最小限に制作する生徒もいた。



【電気をつける装置】

使用時を考え、持ち運び方法や電源のつけ方を工夫していた。この生徒はワイヤーや紐を駆使し、ライトの持ち手と電源をランプシェードの外からつけることのできるような装置をつくった。

④ 中間鑑賞:いろんな作品を見て多様な表現方法があることに気付き、光が作り出す空間に着目する。

「和紙は形が透けて見えるね」「この色きれい」など、見方や感じ方を広げていた。この後に本制作に再び入ると、主題に合う表現方法を追求していた。



【中間鑑賞の様子】

和紙は形が透けて見えるね

この色きれい

・暗闇の中でどう光るか考える。
・画用紙の暖かさが伝わるような表現をしたい。

・光の出方まで考えている人を見習いたい。
花紙を二重にしていた人が色が濃く出ていていいと思った。

【生徒の振り返り (一部抜粋)】

⑤ 鑑賞:細部を見せ合うグループ鑑賞と全体鑑賞をする。

制作時とは異なるメンバーでグループ鑑賞後、明るい状態、暗い状態での全体鑑賞を行うことで、制作者の意図を感じ取らせるとともに、ライトをつけたときに生まれる空間に与える印象の変化を体感させた。



【グループ鑑賞の様子】



【暗い状態で鑑賞の様子】

・様々な人が、各々で選んだ材料を使っていた。暗い状態での鑑賞はいつもと違う美術室になり、華やかな部屋になった。

・ライトをつける前では見えなかったものが、ライトをつけて見方が変わり、面白かった。

【生徒の振り返り (一部抜粋)】

作品完成例



「色鮮やかな光が交わるブーケ」
色々な色のストローを使って、たくさんの光が交わるようにした。和紙を使って花束感を出した。



「蛭」
いかにも甲虫のように、羽にボンドを塗って光沢感を出した。



「ある家族の中」
ライトを当てることで、隠れていたパンダが出てくるイメージで表現した。